昨日消えた男（1964）

メディア 映画
ジャンル 時代劇　ミステリー
製作国 日本
色彩 Color
時間 83分
初公開日 1964/04/18

【解説】
1941年に公開された同名作品の再映画化。前作でダシール・ハメット『影なき男』を原案とする脚本を執筆した小国英雄が、再びオリジナル脚本を書いた。市川雷蔵と宇津井健がコンビを組んで殺人事件に挑む。
退屈な毎日に飽き飽きしていた八代将軍吉宗は、暇つぶしに江戸町奉行所の同心になりすまして捜査を開始する。吉宗は大橋兼四郎という浪人と出会い、彼の長屋に居候することに。だが長屋の土間には死体があり、吉宗は事件の究明に乗り出す。被害者は「木材問屋美濃屋は幽霊船を持っている」と言っていた巳之吉。その雇い主である河内屋の主人の様子が三年ほど前からおかしいという証言もある。やがて吉宗と兼四郎の周りで第二、第三の殺人事件が発生。二人は真実にたどり着くことができるのだろうか。

【クレジット】
監督 森一生
企画 財前定生
脚本 小国英雄　Hideo Oguni
撮影 本多省三
美術 太田誠一
音楽 大森盛太郎
出演 市川雷蔵
高田美和
藤村志保
宇津井健
三島雅夫
成田純一郎
島田竜三

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.